

## まえがき

約27年前、私はある食品会社の情報システム部で働いていました。会社のトップが信心深い人だったこともあって、会社の敷地内には社が祭られていました。社内でも信心深い人が多かったように思います。ある日職場で一緒だったF氏と数名の同僚に誘われ、F氏から手のひらにヒーリングを行ってもらいました。そうすると、なんとなく手のひらに気やエネルギーといった不思議な感覚を味わい、私はそれまで、スピリチュアルの気やヒーリングといった霊的なことを意識したことがなかったのですが、不意に自分の中にそれまで気づかなかった「チカラ」があることに気がつきました。その後、自分の両手の間に言葉で表現すると「もわーっ」「ふわーっ」とした感覚をも感じるようになり、しばらくしてから、私は人間の身体（肉体）を包み込んでいる「スピリチュアル・ボディ」の存在がわかるようになりました。

私は27年前のこの体験がきっかけで、スピリチュアルの世界に深く関わるようになり、練習を重ねた結果、しだいにスピリチュアル・ボディを操作できるようになった後は、そのチカラを活用して、具合が悪い方を「癒やす」仕事をさせていただくようになりました。

同時にスピリチュアルの世界の仕組みについて自分なりに考えをまとめ、より多くの方々が私と同じチカラを発揮できるようになることを目指して、ノウハウを広く一般にお伝えしようと考えてるよう

なつたのです。

その後、私たちが試行錯誤しながら生みだされたヒーリングを「トウルース・ヒーリング」Truth（真実、真理、真、事実、本当、真相）と名付けました。決して特別な人だけではなく練習してコツをつかむことでエナジーのパワーアップを行えばできるようになる日本ヒーリング・サイエンス協会のヒーリングを、この書籍を通じて多くの方にお伝えし、ご活用していただければ幸いです。

スピリチュアルの世界は、普通目に見えない世界です。

よくわからないけど、ちょっと関心がある……。

そんな皆さんのためにまとめました。

この本を手にとつてくださった方の中には「理論より、早くヒーリングの方法を学びたい」という実践派の方もいらっしゃるでしょう。

でも、まずは第1章・第2章をしっかりと読んで、その後次の章に進んでいただきたいと思えます。一見回り道に見えても、理論を知つておくと理解しやすいです。

私自身は理論的な背景を深く知る前に、ヒーリングのチカラが先についてしまいました。しかし、今になってみると初めにきちんとして理論を学んでいれば、もつと迷わず効率よく上達することができただろうと思います。

また、皆さんの周りにはスピリチュアルに興味がない、見えない世界は信じない、という方もいらっしゃるでしょう。そういう人たちとコミュニケーションするときにも、ここに書いた内容はきつと役に立つと思います。

決して特別な才能や能力が必要というのではなく、誰でも優しく簡単にできる内容となっています。